

立命館大学大阪いばらきキャンパス開設記念 立命館いばらきフューチャープラザオープニングコンサート



～共創の響き～

指揮：阪 哲朗

バス：岸本 力

ソプラノ：大倉由紀枝

管弦楽：立命館大学交響楽団

*

大木惇夫作詞／山田耕筰作曲：ばらの花に心を込めて

ロシア民謡：バイカル湖のほとり

モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」より“美しい思い出はどこへ”

ロッシーニ：歌劇「セヴィリアの理髪師」より“かげろはそよ風のように”

モーツァルト：歌劇「ドン・ジョヴァンニ」より“手を取り合って、うちへ行こう”

レハール：喜歌劇「メリー・ウイドウ」メドレー

ほか



ピアノ：小笠原真宗

茨木市

知と文化の創造・発信・交流

立命館

RITSUMEIKAN IBARAKI FUTURE PLAZA OPENING CONCERT

2015年5月10日【日】16:00開演(15:00開場)／立命館いばらきフューチャープラザ グランドホール

★茨木市に在住、在勤、在学される方400名様ご招待！

◎対象者 小学生以上の市内在住・在勤・在学者

◎応募方法 往復はがきに希望者全員(1通につき2人まで)の①氏名②年齢③郵便番号④住所

⑤電話番号、市外の方は⑥会社名または学校名、一時保育希望者は子どもの⑦氏名⑧フリガナ

⑨性別⑩生年月日を記入し、3月27日(金)までにお申込みください。(期日必着)

◎応募先 〒567-8505 茨木市駅前三丁目8番13号 茨木市政策企画課

◎問合せ先 茨木市政策企画課 ☎072-620-1605

◎備考 応募多数の場合は抽選となります。



RITSUMEIKAN
OSAKA
IBARAKI
CAMPUS
SINCE 2015



立命館いばらきフューチャープラザ オープニングコンサート ～共創の響き～ 5.10@グランドホール



阪 哲朗 *Tetsuro BAN* 指揮／立命館大学交響楽団オーケストラアドバイザー

京都市出身。京都市立芸術大学作曲専修にて廣瀬量平らに師事。卒業後、ウィーン国立音楽大学指揮科にてK.エステルライヒャー、L.ハーガー、湯浅勇治に師事。欧米での客演が数多く、これまで主にドイツ・オーストリア・スイス・フランス・イタリアなどで約40に及ぶオーケストラ、歌劇場に招かれ成功を収めている。2008/09年の年末年始に、ウィーン・フォルクス・オーパーで、同歌劇場の年間のハイライトとも言えるべき公演である「こうもり」を指揮し、大変な話題となった。これまでに、スイス・ビール市立歌劇場専属コレペティトゥーア兼指揮者、ブランドンブルグ歌劇場専属第一指揮者、ベルリンのコーミッシェ・オーパー専属指揮者、ドイツ・アイゼナハ歌劇場音楽総監督、山形交響楽団首席客演指揮者を歴任。2009/10年のシーズンより、ドイツ・レーゲンスブルク歌劇場の音楽総監督(GMD)を務める。1995年「第44回ブザンソン国際指揮者コンクール」優勝。1996年京都府文化奨励賞、1997年度ABC国際音楽賞、2000年京都市芸術新人賞、2000年第2回ホテルオークラ音楽賞、2004年度第12回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2006年度第26回藤堂顕一郎音楽賞受賞。



岸 力 *Chikara KISHIMOTO* バス

茨木市福井出身。1972年、東京藝術大学卒業、74年、同大学院修了。73年日本フィル「第九」、大阪フィル「森の歌」でデビュー。76年、文化庁派遣芸術家在外研究員としてイタリア、オーストリアに留学。77年、ローマ・サンタ・チェチーリア・アカデミー修了。72年、第41回日本音楽コンクール第1位。74年、第5回チャイコフスキー国際コンクール最優秀歌唱賞。84年、第4回リサイタル「ショスタコーヴィチ歌曲の夕べ」で、第39回文化庁芸術祭優秀賞を受賞。「第九」「森の歌」等のバス・ソロ、オペラでは、「ボリス・ゴドゥノフ」の国境警備をはじめ、主役級で数々の舞台に出演。93年、タン・ドゥン「オーケストラシアターⅡ Re」(岩城宏之指揮／東響)の世界初演に出演。03年・04年・06年と日本フィル主催「ロシア民謡コンサート」で主役と企画を務め、オーケストラとの共演で「ロシア民謡」をロシア語で歌うという日本人初のコンサートを成功させ大喝采を浴びた。13年、デビュー40年記念リサイタル開催。「ロシア音楽」をライフワークとし、ショスタコーヴィチの声楽作品本邦初演や「知られざる」歌曲群の紹介、ロシア歌曲集の編集など、「日本屈指のバス歌手」であると同時に「ロシア音楽の第一人者」として高く評価されている。平成22年度文化庁長官表彰。12年、ロシア文化振興への貢献に対し、プーシキン・メダル(ロシア文化勲章)を受ける。また、ふるさと茨木市からは「茨木市市民栄誉賞」が贈られた。



大倉由紀枝 *Yukie OKURA* ソプラノ

国立音楽大学声楽科卒業。東京藝術大学大学院オペラ科修了。第13回民音コンクール第1位受賞。イタリア・ミラノに留学。帰国後、「カブレレーティ家とモンテッキ家」のジュリエッタでデビュー。その後「ジャンニ・スキッキ」のラウレッタ、「フィガロの結婚」の伯爵夫人、「ドン・ジョヴァンニ」のドンナ・アンナとドンナ・エルビーラ、「コシ・ファン・トゥッテ」のフィオルデリージ、「ホフマン物語」のソプラノ四役、「魔笛」のパミーナ、「蝶々夫人」のタイトルロール、「シモン・ボッカネグラ」のアメーリア、「黒船」のお吉などを演じる。1998年、新国立劇場二期会共催公演「アラベッタ」タイトルロールを見事に歌いあげた。02年、二期会創立50周年記念公演「フィガロの結婚」の伯爵夫人で喝采を浴び、03年、新国立劇場「アラベッタ」タイトルロール、03年、二期会＝ケルン市立国立劇場共同制作「ばらの騎士」元帥夫人と、相次いでリハルト・シュトラウスの大役を演じる。06年、錦織健プロデュース、オペラ「ドン・ジョヴァンニ」にドンナ・アンナで出演。10年、新国立劇場にて三島由紀夫原作オペラ「鹿鳴館」の朝子役を熱演、14年、再演し絶賛される。コンサートでは、ベートーヴェン「第九」をはじめ、小澤征爾指揮サイトウキネンオーケストラのマーラー「復活」、ペーター・シュライヤー指揮のベートーヴェン「ミサ・ソレムニス」など、国内外の著名な指揮者やオーケストラと数多く共演。実力と華を兼ね備えた日本を代表するソプラノの一人である。

小笠原貞宗 *Sadamune OGASAWARA* ピアノ

武蔵野音大ピアノ科卒。東京オペラ・プロデュース、「東京の夏」音楽祭、二期会駅伝コンサート等の伴奏、モーツァルト/ピアノ協奏曲第9番・23番・27番、ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第1番のソリストとして出演、好評を得る。独奏伴奏共に強い支持を得て精力的に活動中。CDにマーラー『子供の不思議な角笛』、モーツァルト『ジェノプ』協奏曲。ピアノ専門誌『レッスンの友』、『ムジカノヴァ』誌に多数寄稿。自作曲多数発表。

立命館大学交響楽団 *Ritsumeikan University Symphony Orchestra*

立命館大学交響楽団(通称立響)は、1955年に創団された。当時、当団名誉会長の故伊吹新一氏をはじめとするわずか数名の有志によって結成されたオーケストラであったが、現在は約120名の団員を擁するまでに成長した。創立以後、春季・冬季の演奏会を定着させ、2008年12月には第100回目の定期演奏会を開催するなど、2015年現在で112回を数える定期演奏会を実施している。また、2014年度にはオペラ「カルメン」の全幕公演という、音楽を専門としない学生オーケストラでは異例の取り組みを実施し、大成功を納めた。今年は、当団創立60周年の節目の年であり、11月28日にびわ湖ホールにおいて創立記念第114回定期演奏会、12月6日には、すみだトリフォニーホール東京公演を実施する予定となっている。立響と「茨木」との関係は、2013年9月の特別演奏会茨木公演から始まり、今後茨木市を中心とする地域での演奏会定例化も視野に入れている。

◆立命館いばらきフューチャープラザ

「立命館いばらきフューチャープラザ」は、茨木市と立命館の公私協力により立命館大学大阪いばらきキャンパス(OIC)内に整備される地域・社会連携のシンボルとなる施設です。学生・教職員のみならず、地域の方、社会人の方、企業の方など様々な人が集い、知と文化をともに創造・発信し、様々な価値観が交流することで豊かな暮らしを創造していく場です。同施設には各種ホール、図書館、レストラン、コーヒースタ、研究・産学連携施設、まちライブラリー等が配置されます。

茨木市岩倉町 2-150 ☎ 072-665-2550(3月24日以降)
JR 茨木駅から徒歩約5分／阪急南茨木駅・大阪モノレール南茨木駅から徒歩約10分
阪急茨木市駅から徒歩約20分／大阪モノレール宇野駅駅から徒歩約7分

